

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 10月 1日

事業所名 コベルプラス川越教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		<ul style="list-style-type: none"> ・適切かと言われれば、やはり狭いと思う。 ・環境整備をし、危険物を取り除いたり、運動実施時間をずらすなど配慮する。
	②	職員の配置数は適切である	6	0		<ul style="list-style-type: none"> ・指導員 3 名で 3 教場の際に欠員を出せない為、4 人だったらもう少し余裕があると思うことはある。 ・3 教場の時にもう 1 人いれば安心だと思うことがある。 ・1 時間 2 コマの 5 時間にするなどの時間割り見直しを含め、新年度に向けて見直しを図る。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物が気になる子がいれば、外したり、机の向きを変えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差のない玄関の為、色を変えたり、マークを付けるなど環境を整える。 ・利用者様の特性に考慮し、手すりなど随時検討する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝掃除をしている。 ・定期的な専門業者清掃を行っている。 ・狭いけれど出来ていると思う。 	
業務	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・接し方の難しいお子さんに対して、よく話し合う。 	

改善				・業務が大変と思えば、相談したり引き受けたりしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	・関係機関連携などで来室された相談員などに評価いただける評価表の用意を検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・いつでも支援計画を確認できるようになっている（ファイルに綴じてある）。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・記録をもとに、前回の取り組みを見てから支援に入れるようになっている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼時に子どもたちの近況を共有し合っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・「その日に必ず」ではないが、行えていると思う。 ・打ち合わせ、引き継ぎはおこなっているが、必ずしも当日中ではない。	・最終療育など、当日中の引継ぎは難しいですが、次の療育までには、記録や口頭などで周知を行なっている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・前回の記録を見ると実際に見ていなくても様子が分かるくらい、しっかりと書かれている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
関係機関や保護者との連	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・教室長が窓口となって連携で来ていると思う。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1	・現在、そのようなお子さまがいない。	・対象となる児童の通所が始まった際には速やかに対応できるようにする。

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		2	・同上。 ・気をつけなければいけない所など、保護者を通して伝わっている。	・対象となる児童の通所が始まった際には速やかに対応できるようにする。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		・「学校の先生と」であれば共有はしていないのでは？ ⇒直接学校の先生との面談等はないが、希望者には移行支援シート活用している。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		・研修は受けていないと思う。 ⇒今後は研修開催の際には積極的に参加できるよう努める。 ・連携はしているが、助言や研修は受けていない。 ⇒引き続き連携を深め、助言を頂ける機会があれば、支援に取り入れる
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	・イベント等で、利用者の兄弟等と関わる機会もあった。	・コロナ禍であった為、できておらず。 ・コロナ禍でもあったので、これから行えて行けたらいい。 ⇒コロナ禍だったため、幼稚園保育園と活動する機会はなかったが、兄弟児参加可能なイベントは開催した。

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4		・日程を調べるなどはしているが、都合が合わず。 ⇒日程を確認し、参加可能な時間で積極的に参加できるように努める。
--	----	--	---	---	--	---

保護者への説明責任等	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	0	・今、特に力を入れて取り組んでいる。	
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		・正解がないので、難しさを感じる。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	・ペアトレが良い交流の機会となっている。	・引きつづき、ペアレントトレーニングをはじめ、保護者同士が話せる機会を創出していく。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・SNS の積極的活用する。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		・コロナ禍であったためできておらず。 ・感染症対策でまだできていなかったが、これから企画をされていくのではないかと。 ⇒事業所開放日を設定する方向で調整します。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・6月と12月に実施した。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・他教室と共有している。 ・アセスメントシートに記入してもらったり、フィードバックでお話してもらえるよう気をつけている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1	・食事の提供はないが、アセスメントシートにて把握している。	・食事の提供がない。 ・食事の提供はないが、職員の食事の後は、掃除をしたり、消毒をするなどの対応を行っている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・朝礼での共有。 ・迅速に作成し、共有をしている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。